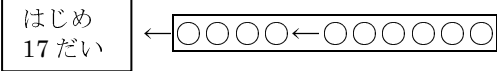


言語活動の充実に関する実践事例

学校名(世羅町立世羅小学校)

- ① 教科等 算数科 ② 学年 第2学年
- ③ 単元名 ふえたり へったり
- ④ 本時の目標 増増の場面を、変量に着目し、まとめて考える考え方で解くことができる。
- ⑤ 学習の流れ (2時間目/全3時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 問題を読み、題意をつかむ。	・着目すべき数量や、問いの文を見付けさせる。	<p>・「まとめて考える」解き方を使って、問題を解いている。〔数学的な考え方〕(ノート・発言)</p> <p>【ノート記述の評価基準】 A:「まとめて」という考え方が表れた図・式・答えを書いて問題を解いている。 B:「まとめて考える」解き方で、式と答えを書いて問題を解いている。 C:「じゆんに考える」考え方のみで、問題を解いている、または、問題が解けていない。</p>
<p>ちゅう車じょうに車が17だいとまっていました。そこへ4だい入ってきました。また6だい入ってきました。車は今、何だいありますか。</p>		
2 本時のめあてを知る。	・前時の学習を想起させて、まとめて考えるやり方で解こうとする意欲をもたせる。	
<p>まとめて考えるときかたで、もんだいをとこう。</p>		
<p>3 問題を解く。</p> <p>「まとめて考える」 式 $4\text{ だい}+6\text{ だい}=10\text{ だい}$ $17\text{ だい}+10\text{ だい}=27\text{ だい}$ 答え 27だい</p> <p>「じゆんに考える」 式 $17\text{ だい}+4\text{ だい}=21\text{ だい}$ $21\text{ だい}+6\text{ だい}=27\text{ だい}$ 答え 27だい</p>	<p>・図、式、説明を書き込ませる。 「まとめて考える」</p>  <p>・図や式、言葉を使って説明させる。 ・2通りの解き方を発表させ、考え方の違いに気付かせる。</p>	
4 考えを発表する。	・「入ってくる」「また入ってくる」という言葉に着目させて発表させる。	
<p>5 練習問題を解く。</p> <p>みさきさんはちよ紙を24まいもっていました。きのう5まい買いました。今日5まい買いました。今、ちよ紙は何まいありますか。</p>	<p>・1問目の学習をもとに、「まとめて考える」解き方で2問目を解かせる。 ・考えを図や式、言葉を使ってノートに記述させる。 ・考えを発表し合うことで、まとめて考える解き方を定着させる。</p>	
6 本時を振り返る。	・まとめて考えるよさを感じさせて、学習を振り返らせる。	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 加減の変量に着目して事象の増減を判断し、まとめて考える考え方を式や図を用いて説明することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 図や式や言葉に表し、説明する活動を取り入れる。
- 児童の記述を見取り、それを生かして発表し合わせ、理解を深めさせる。
- ノート記述の評価基準を設定して指導を行う。